

2011年11月2日 イイフタの日

第一回 マンホールナイト

●企画者の清水から

本日はお忙しい中、第一回マンホールナイトにお越しいただきありがとうございます。

今年4月にアド待ツク天国のロケで垣下先生とお会いして以来、なにか企画できないかとずっと考えておりました。ちょうど、世話になっている竹内さんのお店で様々な催しが行われていることもあり、これは良いとばかりに開催を打診いたしました。竹内さんは快諾して下さい、多大なご協力をいただいて企画が実現することとなりました。この場を借りて竹内さんには御礼を申し上げるとともに、お忙しい中お越しくくださった垣下先生や、今回研究発表を快諾して下さった白浜さんにも心より御礼申し上げます。本日の記念すべき第一回マンホールナイトが今後のマンホール趣味発展の一助となれば幸いです。

●各講演概要

(1)基調講演 垣下嘉徳先生

上溝南高校で国語科の先生をなさりつつ、マンホール蓋の外側にとどまらず中までを突き詰めたマンホール界の大先生。これまで様々なメディアに出演なさった他、2005年には著書『路上の芸術』(新風社)を出版。今後も先生の動きから目が離せません。今回はそんな大先生の講演が実現しました。さて、一体どんな話が飛び出すのでしょうか。

(2)白浜公平研究員【路上の芸術 vs 路上の文化遺産】

華やかなデザインの多い「路上の芸術」と、地味だけど奥の深い「路上の文化遺産」。決して対立するものではないけれど、同じ趣味とも言いきれない鉄蓋の鑑賞方法。そんな両者の共通点と相違点を探ると、何か見えてくるものがあるかもしれません。

(3)竹内正則研究員【マンホールの蓋の文字。「萌え点」の分類研究】

なぜか点の一つ多い文字が路上の蓋に使われていることがあります。

たとえば、「弁」が、「弁、」と書かれています。

これは異体字といって、常用漢字では無い漢字です。

そんな不思議な漢字の点を「萌え点」と名付けました。

その萌え点の分類研究に、萌えの手法を用いつつ分類研究し発表いたします。

(4)白浜公平研究員【突っ込みどころの多い蓋】

「趣味は鉄蓋鑑賞だ」と言っても、それぞれの蓋に着目すべき点は数多くあります。それぞれの着目点に突っ込みを入れることで、鉄蓋鑑賞の新しい楽しみ方を模索します。

(5)白浜公平研究員【路上X波の定量解析に関する考察】

「路上X波」とは、路上観察学会メンバーの談話から生まれた、それまでにない新しい概念・用語です。その理解を深めるために定量化と解析的拡張を試みます。さらに現在も生まれ続けている新しい概念と用語とを歴史にとどめるべく、それらを纏めてご紹介します。

(6)清水貴司研究員【下水道台帳、google ストリートビュー等による調査の可能性】

珍しい蓋を見つけたい、そんなときには事前調査が欠かせません。ここでは仕様書や台帳図、ストリートビューなど、各種資料を組み合わせた効率的なマンホール蓋鑑賞の方法を実際の図面や画像と共に紹介するとともに、直近の調査結果の一例を紹介します。

キーワードは「中を知り、外を極める」です。

●進行予定表

■第一部

司会：清水貴司 国鉄型すと一か一下水君

18:00 開場・マンホールの蓋 お宝映像投影

19:00 基調講演:垣下 嘉徳先生

(マンホール研究家、著書:路上の芸術—マンホールの考察、およびその蓋の鑑賞)

19:30 研究発表【路上の芸術 vs 路上の文化遺産】発表者:白浜氏

19:45 質疑応答

19:50 研究発表【マンホールの蓋の文字。「萌え点」の分類研究】発表者:竹内氏

20:05 質疑応答

20:10 研究発表【突っ込みどころの多い蓋】発表者:白浜氏

20:25 質疑応答

20:30 休憩

■第二部

20:50 研究発表【路上X波の定量解析に関する考察】発表者:白浜氏

21:05 質疑応答

21:10 研究発表【下水道台帳、google ストリートビュー等による調査の可能性】発表者:清水氏

21:30 質疑応答

21:35 マンホールの蓋 座談会

(来場の皆様、研究者皆様で)

24:00 終了

*会場内にはマンホール関連資料をご用意しました。ご自由にご覧下さい。